

弘 前 大 学 学 報



山桜点景（青森市鶴ヶ坂付近）

第579号
平成13年4月

米国のサンディエゴ州立大学と 14校目の大学間交流協定締結

この度、吉田学長とサンディエゴ州立大学スティーブン・ウェーバー学長が相互に「教育・研究に関する交流協定」並びに「学生交流に関する覚書」に署名され、平成13年3月19日付をもって、両大学の大学間交流協定の調印が滞りなく終了しました。

サンディエゴ州立大学との交流は、昨年6月、カーペンター国際交流センター次長が、全米を網羅する国際交流実現のため、米国西海岸カリフォルニア州ロサンゼルス市の南でメキシコ国境まで約20kmの風光明媚なサンディエゴ市所在の同大学を訪問し、国際交流のための現地調査を実施した結果、その教育・研究環境が本学の学生、研究者の交流に最適であるとの結論に至るとともに、その後、本年2月に同大学人文学部長ポール・ストランド教授が来学し、両大学間でどのような交流が可能か吉田学長をはじめとする本学関係者と具体的な意見交換及び学内諸施設の視察を実施し、相互理解を深めたことがきっかけとなったものです。

なお、本学における大学間交流協定締結は、昨年12月のハンガリー共和国のデブレセン大学に続くもので、米国としては南部のテネシー大学マーチン校、東北部のメイン州立大学と併せて3校目となり、本学と米国との国際交流が更に推進され、今後の留学生、研究者の相互交流並びに両大学の教育・研究の発展が期待されます。



協定書に署名する吉田学長



吉田学長を表敬訪問するポール・ストランド教授

米国のサンディエゴ州立大学と14校目の大学間交流協定締結

入学式告辞	弘前大学長 吉田 豊 …	2
-------	--------------	---

学内ニュース

○平成13年度弘前大学入学式を挙行 ……………	4
○北東北国立 3 大学公開講演会 「21世紀・少子高齢化社会の未来を語る」を開催 ……………	5
○国際交流講演会開催される……………	6
○課外活動団体学外功労者へ感謝状を贈呈……………	7

関 係 法 令……………	7
--------------	---

学 事

○学内紀要……………	8
○外国出張……………	8

諸 会 議……………	9
------------	---

人 事

○新任部局長等紹介……………	11
○新任評議員紹介……………	11
○新任部課長等紹介……………	12
○新任教授紹介……………	13
○人事異動……………	15
○旧姓使用……………	30

主 要 日 誌……………	31
--------------	----

行 事 予 定……………	32
--------------	----

学 内 規 則……………	32
--------------	----

諸 報

○セクシュアル・ハラスメントに関する苦情相談について……………	35
○訃報……………	37
○訂正……………	37

平成13年度弘前大学卒業式

告

辞

弘前大学長 吉 田 豊



豪雪でことさら厳しかった冬も終わり、そこかしこに春の訪れが感じられる今日この佳き日、1,433名の皆さんを迎え、弘前大学入学式を挙行できますことは私の大きな喜びであります。本日入学された皆さんとご家族の方々に心からおめでとうを申し上げます。

今年の弘前大学の受験倍率は4.4倍でありましたから皆さんはその中から選ばれて入学が許可されたことになります。激しい競争に勝ったことを喜び、自信と誇りをもっていただきたいと思います。同時に多くの友人が僅かの得点差で入学できなかったことにも思いをいたし、これからの学業に励んで欲しいと思います。

皆さんの入学した弘前大学は昭和24年に創立されましたが、以来この52年間に43,000人になんなんとする卒業生を世に送り、彼等は県内はもちろんのこと、全国において、そして世界の各地においてもそれぞれの分野で大きな活躍をしており、社会の評価も高いのであります。皆さんは本日その仲間入りをしたことになりますが、大学キャンパス内には、先輩の築かれた伝統と気風が有形、無形のかたちで充ちているはずであります。これからは先輩と一緒にこれらをエンジョイし、自分のものとし、自己練磨に励んで欲しい

と思います。それは昔からいわれる“共に、よく学びよく遊ぶ”ことに尽きるのであります。もともと大学とは、すぐれた専門性と豊かな教養の人間をつくるというよりは、人生の中のこの一時期にそのような人間となるためのポテンシャルを育成するところであり、新入生の皆さんには自由な思惟・思索が実践できる大学生の特権を活かして、よく学びそしてよく遊んで欲しいと思います。

日本の大学はいま、IT革命といわれる情報化時代、グローバリズムが台頭した国際化時代、18歳人口が減少しつつある少子高齢化時代等の社会変革の大きなうねりの中で、新しく変わろうとしています。皆さんもご承知のように大学は10年程前から大学改革の旗印の下に種々改革をすすめています。予測以上に社会の変革が激しく、また速く進行し、今年度は国も施策の中心に経済政策と共に教育改革を据え、その中で国立大学の独立行政法人化を含めた大学改革を行おうとしているのであります。しかしその行き着くところは、これからの大学は、グローバル化時代にあって、世界の大学との競争に勝てる教育・研究の内容を持つ、個性輝く、特色ある大学でなければならないということでもあります。このためには、外国の学生にとっても魅力のある多様化教育、国際化教育、専門基礎教育等のカリキュラムを備えた学部教育と高いアカデミズムのある研究科、大学院がなければならないのであります。本学はその実現に向けて“世界に発信し地域と共に創造する弘前大学”を標語にかかげ、21世紀大学構想を進めているところであります。

さて、本学が大学の特色づくりの柱として、いま推進している国際化教育は、皆さんが国際化時代に通用する社会人となることを希っての教育方針であります。それは取りも直さず皆さん自身の国際化であります。そしてこの自己の国際化のためには、2つのことが基本になるかと思っています。1つは国際コミュニケーションのための外国語、特に英語ができること、そし

て2つ目は外国人と付き合える教養をもつことであります。もっと具体的には、大学が用意した豊富なカリキュラムによって日本人としての教養を身につけ、本学在学中の120名の外国人留学生と英会話を交わしながら親しい交流をもつことであり、それによって社会の動きを常に世界的視野で観られるようになることであります。入学式にあたり、皆さんにこのことを強調しておきたいと思ひます。

さて、私は毎年入学式では、弘前が生んだ明治・大正の偉大な人物をひとりずつ紹介し、皆さんの参考に供してきました。教養人・教育者として活躍しキリスト教を広めた本田庸一。国際人として全国に名をなした駐英大使の珍田捨己伯爵、及び佐藤愛磨駐米大使。自分の志、信条を貫いた新聞「日本」の創始者 陸羯南。そして、苦難をこえて独特の境地を拓いた野沢如洋画伯であります。今日は、街の青少年の心身の育成に生涯尽力した、社会教育家 伊東重（いとうしげる）を紹介したいと思ひます。

伊東重は1857年（安政7年）津軽藩の御典医 伊東家久の長男として、現在養生幼稚園のある弘前市元長町に生まれました。当時の医学校、今日の東京大学医学部を出ていますが、卒業時にその才能が認められドイツ留学をすすめられたのでありますが、振り切って故郷弘前に帰り、開業医として医の仁術を施し、この地方きっての名医・名士といわれていました。やがて衆望に応えて、県医師会長、弘前市長、衆議院議員を歴任されますが、医師・政治家として弘前が生んだ代表的人物であります。しかし、伊東重の地域への最大の貢献は、早起き会や自分の創設になる養生会を通して、この地方の青少年の心身の向上を図り、多くの人材を育成したことであります。そして、その実践から割り出して提唱された養生哲学、脳力、体力、資力の3つをもつことが人間の生きるための基本条件である、との思想を全国に広めたのであります。

伊東重は幼少時から英邁のはまれ高く、将来が囑望されていましたが、私が今日皆さんに紹介したいことは、彼は少年の頃からなお人一倍の努力家であったということです。まだ東奥義塾の中学生だった頃の逸話があります。当時東奥義塾にはジョン・イングというアメリカの偉い先生がいました。この先生は毎日2時間以上かけて弘前周辺の神社や森へ散歩することを常としていましたが、散歩の時には必ず誰か生徒を一人連れていくのであります。なかば強制的に生徒が割り当てられるので、当たった生徒にとっては謹厳な先生にお供することなので迷惑でもあった訳であります。そんなとき伊東少年は積極的に他の生徒の順番まで引き受け、すすんで先生の散歩のお供をしました。

それはハッキリとした動機があつての行動であり、自分の英語力を高めようという向学心が働いていたのであります。毎日歩きながら懸命になって身につけた彼の英語力はずいぶん実を結びました。医学校に入学し、1学期が終わったとき、英語の教授に呼ばれ、“君の英語力は大したものだ。単位をあげるからもう講義を受けなくてもよい”といわれたそうであります。伊東重をして、子供の頃から人知れず努力を重ねていたというエピソードであります。

学問には平坦な道がないのであって、努力することの重要さは昔も今も少しも変わらないのであります。皆さんには弘前大学に入学されたいま、本学で何を学びたいのかをもう一度よく考え、それに向けて各人各様の努力をされるよう期待しております。

最後に皆さんには、今日から弘前大学の学生であることの矜持をもって勉学に励み、生き生きとした楽しい学生生活を送られるよう希い、告辞といたします。

平成13年 4 月 4 日



平成13年度弘前大学入学式を挙行 ～学部・大学院学生ら入学 附属学校園でも入学式を挙行～

平成13年度の弘前大学入学式は、4月4日（水）午前10時から弘前市民会館において、各学部の新入生を迎え、厳かに挙行されました。

式典は、これからの大学生活に期待を膨らます新入生らが待ち受ける中、吉田学長の入学式告辞で始まりました。続いて、新入生代表の農学生命科学部青木強さんによる学生宣誓、各部局長等の紹介があり、最後に本学名誉教授の安達弘潮先生の指揮のもと、弘前大学フィルハーモニー管弦楽団及び弘前大学混声合唱団による「弘前大学学生歌」が演奏され、晴れの式典が終了しました。

当日は風は冷たかったもののまずまずの天候に恵まれ、市民会館前の駐車場では、記念撮影する父兄や、サークルへ勧誘しようと様々な趣向を凝らして集まった学生等で、いつもながらの賑やかな歓迎風景が見られました。

また、弘前大学大学院入学式は同日13時から創立50周年記念会館みちのくホールにおいて、教育学部附属学校園の入学式・入園式は、小、中学校が4月6日（金）、養護学校が4月9日（月）、幼稚園が4月10日（火）に各学校園においてそれぞれ執り行われました。

今年度の入学者数は、次のとおりです。

○学部（1,386名）

人 文 学 部	356名
教 育 学 部	254名
医 学 部	286名

理 工 学 部	304名
農 学 生 命 学 部	186名

○3年次編入学（27名）

理 工 学 部	13名
農 学 生 命 学 部	14名

○医療技術短期大学部

専攻科助産学特別専攻	20名
------------	-----

○大学院（184名）

人文社会科学部研究科	17名
教育学研究科	39名
理学研究科	66名
農学研究科	37名
医学研究科	25名

○附属学校園（410名）

小 学 校	128名
中 学 校	200名
養 護 学 校	17名
幼 稚 園	65名



北東北国立 3 大学公開講演会 「21世紀・少子高齢化社会の未来を語る」を開催

本学、岩手大学、秋田大学主催による第1回目の「北東北国立 3 大学公開講演会」が、3月17日、弘前大学創立50周年記念会館「みちのくホール」で開催されました。

この講演会は、昨年8月に、北東北3県に所在する本学、岩手大学、秋田大学の連携推進を図り、相互の発展を期すために設置された「北東北国立 3 大学連携推進会議」の初の連携事業で、本学に続き岩手大学、秋田大学で開催される予定です。

当日は、関係機関、市民、学生など約200人の参加者を得て、始めに吉田学長の挨拶、続いて3大学の講師により平成13年の基本テーマ「21世紀・少子高齢化社会の未来を語る」について、それぞれ専門の立場から講演（司会：本学生涯学習教育研究センター藤田助

教授）が行われました。また、講演終了後、質疑応答も行われ、参加者らは少子高齢化社会における行政、医療、住民等の在り方について考えを深めていました。なお、講演内容は、次のとおりでした。

○『高齢化社会における介護と福祉の在り方』

弘前大学医学部教授 清宮 良昭 氏

○『高齢化社会における地域医療の在り方』

秋田大学医学部教授 本橋 豊 氏

○『少子高齢化社会における地域づくりの課題』

岩手大学人文社会科学部教授 横井 修一 氏



挨拶を述べる吉田学長



質疑応答 右から清宮教授、本橋教授、横井教授、司会の藤田助教授

国際交流講演会開催される

～UCTS（UMAP単位互換方式）制度についての説明会～
～留学生受入れ拡大について短期留学における各プログラムを中心に～

このたび、国際交流委員会の主催により、本学の国際交流のさらなる推進のために2つの講演会が行われました。

まず、平成13年3月16日（金）に大学会館・研修交流室において、小樽商科大学教授船津秀樹氏を講師に迎え、「UCTS（UMAP単位互換方式）制度についての説明会」が行われました。

前小樽商科大学国際交流センター長であり10数年間交換留学プログラムの実施に携わってきた船津氏の経験から、特に単位互換を行う際の問題点等について講演が行われました。講演会の演目にもなっているUCTS単位互換スキームによる単位互換の方法については特に詳細に説明が行われ、吉田学長をはじめ参加者からの活発な質問により、本学での本方式の導入に向けて理解を深める上で意義ある説明会となりました。

なお、この説明会には秋田大学と岩手大学からも留学生担当の教官・事務官が聴講に訪れました。



UCTS（UMAP単位互換方式）制度について説明する
小樽商科大学船津秀樹教授

また、平成13年3月21日（水）には、同じく大学会館・研修交流室において、（財）日本国際教育協会常務理事の五十嵐 達氏を講師に迎え、「留学生の受け入れ拡大について（短期留学における各プログラムを中心に）」と題して講演会が行われました。

留学生に対する福祉・援助事業の中核的な実施期間である同協会の常務理事である五十嵐氏により、同協会の概要、特に本学が実施している短期留学プログラム学生に対する奨学金である短期留学推進制度の実状について講演が行われました。

この講演会には吉田学長を始め国際交流委員など多数参加し、留学生援助事業に対する理解を深め、本学としての今後の対応について考慮するよい機会となりました。

※UCTS単位互換方式…UMAP（アジア太平洋大学交流機構）参加国の大学間で単位互換を簡易に行うための方式。留学先での学修量を母国の大学の単位に適切に換算するための尺度等を定めたもの。



講演する（財）日本国際教育協会五十嵐達常務理事

課外活動団体学外功労者へ 感謝状を贈呈

平成12年度の課外活動学外功労者贈呈式が去る3月26日（月）学長室で行われました。

今回の対象者は、合気道部の創設当初から37年余の長きにわたり御指導をいただいた、（財）合気会弘前支部長の山上清志氏と医学部漢方医学研究会の創設当初から20年以上にわたり同部の活動に御尽力をいただいた、神インマヌエル医院長の神 靖衛氏の2名で、両氏に対して学長から感謝状と記念品が贈呈されました。

贈呈式終了後、山上・神の両氏をはじめ、両サークルの顧問を交え和やかに懇談が行われました。



関係法令

○教育職員免許法施行規則の一部改正

（平成13年3月27日 文部科学省令第22号）

教育職員免許法施行規則の一部を改正する法律が、平成13年3月27日付けで公布、同4月1日施行されました。

この法律改正により、小学校又は幼稚園の教諭の普通免許状を受ける場合、一部の単位を他の単位にあてることができることとなりました。

○大学の設置等の認可の申請手続等に関する規則の一部改正

（平成13年3月30日 文部科学省令第26号）

○大学の設置等の認可の申請手続等に関する規則（平成三年文部省令第四十六号）第八条第一項の規定に基づき、大学の設置等の認可申請書その他の書類の様式及び提出部数（平成六年文部省告示第百十六号）の一部改正

（平成13年3月30日 文部科学省告示第44号）

○大学の設置等の認可の申請手続等に関する規則（平成三年文部省令第四十六号）附則第四項及び第五項が適用される場合の第三条第一項の認可申請書その他の書類の様式及び提出部数（平成九年文部省告示第百十号）の一部改正

（平成13年3月30日 文部科学省告示第43号）

以上の省令が、平成13年3月30日付けで公布、文部科学省令第26号及び文部科学省告示第44号は平成13年4月1日から、文部科学省告示第43号については平成13年3月30日から施行されました。

これらの改正により、設置認可申請書類の様式及び提出部数、既設短期大学の設置認可申請期限等が改正されました。

○大学設置基準の一部改正

（平成13年3月30日 文部科学省令第44号）

○大学通信教育設置基準の一部改正

（平成13年3月30日 文部科学省令第45号）

○短期大学設置基準の一部改正

（平成13年3月30日 文部科学省令第46号）

○短期大学通信教育設置基準の一部改正

（平成13年3月30日 文部科学省令第47号）

○学校教育法施行規則の一部改正

(平成13年 3 月30日 文部科学省令第49号)

○大学設置基準第二十五条第二項の規定に基づき、大学が履修させることができる授業等について定める告示の一部改正

(平成13年 3 月30日 文部科学省告示第51号)

○短期大学設置基準第十一条第二項の規定に基づき、短期大学が履修させることができる授業等について定める告示の一部改正

(平成13年 3 月30日 文部科学省告示第52号)

○平成元年文部省告示第百十八号（大学院の入学に関し修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者）の一部改正

(平成13年 3 月30日 文部科学省告示第55号)

以上の省令が、平成13年 3 月30日付けで公布、いずれも同日から施行されました。

これらの改正により、教授等の教員の資格、外国における授業の履修、通信教育による単位の認定及び大学院入学資格の緩和並びに遠隔授業の拡大等について、所要の改正が行われました。

学 内 紀 要

各学部の研究紀要が、次のとおり刊行されました。

○教育 学 部

弘前大学教育学部研究紀要クロスロード第 3 号
(通巻第43号)

(平成13年 3 月30日発行)

弘前大学教育学部紀要 (第85号)

(平成13年 3 月30日発行)

○医 学 部

弘前医学第52号 3, 4 号

(平成13年 3 月31日発行)

外 国 出 張

官職	氏 名	渡 航 目 的	目 的 国	期 間
助教授 (人)	上松 一	先進教育研究推進に関する現地調査のため	フランス 共和国	13. 4. 3 ～ 13. 4. 8
外国人 教師 (人)	ジャンソン・ミッシェル	先進教育研究推進に関する現地調査のため	フランス 共和国	13. 4. 3 ～ 13. 4.14
教 授 (人)	星野優太	文部科学省在外研究員として日英企業の業績評価システムの比較研究のため	フランス 共和国	13. 4.16 ～ 14. 3. 1
助教授 (教)	長南幸安	文部科学省在外研究員として有機亜鉛を用いたポリエン類の合成研究のため	アメリカ 合衆国	13. 3.20 ～ 14. 3.19
助教授 (教)	芳野 明	ジャマイカ国南部地域保健強化計画に短期派遣専門家として参画のため	ジャマイカ	13. 3.31 ～ 14. 4.15
教 授 (医)	八木橋操六	カナダ国マントバ大学での特別講演及び医学教育の現状・問題点の視察のため	カ ナ ダ	13. 3.22 ～ 13. 3.29
教 授 (医)	蔵田 潔	第11回運動の神経制御学会出席発表、眼球運動の神経制御に関するヨーロッパ学術会議での資料収集のため(スペイン) 先進教育研究推進に関する現地調査のため(フランス)	スペイン フランス 共和国	13. 3.24 ～ 13. 4. 7
助教授 (医)	高橋 元	国際化教育励賞によるロヨラ大学(シカゴ)における医学教育と研究の視察のため	アメリカ 合衆国	13. 3. 23 ～ 13. 4. 1
助教授 (医)	馬場正之	アラブ首長国連邦大学糖尿病シンポジウム出席及び研究資料収集のため	アラブ首長 国連邦	13. 3. 25 ～ 13. 4. 1
助教授 (病)	淀野 啓	第26回米国心臓血管・インターベンショナルラジオロジー学会出席のため	アメリカ 合衆国	13. 3. 2 ～ 13. 3. 8
講 師 (病)	植山和正	第33回フランス側彎症学会出席及び脊椎インストルメント生産工場視察のため	フランス 共和国	13. 3. 1 ～ 13. 3. 8
教 授 (理工)	深瀬政秋	国際共同研究「高度スーパーコンピューティング」の研究討論を行うため	アメリカ 合衆国	13. 3.18 ～ 13. 3.25
助 手 (理工)	石田祐宣	自動気象観測装置に関するワークショップ参加及び研究発表のため	タ イ 王 国	13. 3. 6 ～ 13. 3.10
教 授 (理工)	古屋泰文	スマートアクチュエータ材料、特に形状記憶合金の応用に関する情報収集のため	大 韓 民 国	13. 3.16 ～ 13. 3.18

諸 会 議

▼定例評議会

3月13日（火）

議 題

- 1 弘前大学名誉博士の称号授与について
- 2 学内規程の改正等について

報告事項

- 1 地域共同研究センター長の選考について
- 2 教官人事報告
- 3 学内規程の整備について
- 4 平成12年度学長裁量経費について
- 5 平成13年度予算内示の追加について
- 6 第10次定員削減（その他職員）について
- 7 弘前大学運営諮問会議報告について
- 8 青森県高等教育機関懇談会及び青森県学校教育関係者合同懇談会報告について
- 9 平成13年度弘前大学入学者選抜個別学力検査の実施結果について

10 委員会等報告

- (1) 将来計画委員会（2月27日）
- (2) 全学教育協議会（2月27日）
- (3) 自己評価委員会（2月13日）
- (4) 入学試験委員会（2月15日）
- (5) 共通教育運営委員会（2月15日）
- (6) 国際交流委員会（3月9日）

11 その他

▼全学教育協議会

3月19日（月）

議 題

- 1 教育活動の評価について
- 2 TOEFL, TOEIC 等国際的通用性の高い試験の活用について
- 3 平成13年度弘前大学新任教官研修の実施について
- 4 大学審議会「グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について（答申）」への対応について
- 5 その他

報告事項

- 1 21世紀教育実施準備専門委員会報告
- 2 その他

▼将来計画委員会

3月19日（月）

議 題

- 1 長期総合計画について
- 2 弘前大学の理念・目的について
- 3 運営諮問会議の助言について
- 4 外国人教員について
- 5 21世紀教育新生プランへの対応について
- 6 その他

▼八戸地域との交流促進委員会

3月27日（火）

議 題

- 1 八戸地域との交流・連携の促進について
- 2 その他

▼自己評価委員会

4月5日（木）

議 題

- 1 社会貢献の「目的及び目標に関する事前調査回答票（案）」について
- 2 その他

▼自己評価専門委員会

3月6日（火）

議 題

- 1 平成12年度に着手する大学評価について
- 2 その他

3月16日（金）

議 題

- 1 教育サービス面における社会貢献について
- 2 教養教育について
- 3 その他

4月3日（火）

議 題

- 1 教育サービス面における社会貢献について
- 2 教養教育について
- 3 その他

▼広報委員会公式ホームページ専門委員会

3月14日（水）

議 題

- 1 公式ホームページの見直しについて
- 2 危機管理問題について
- 3 その他

▼情報公開委員会

4月2日（月）

議 題

- 1 情報公開対応について
- 2 その他

▼国際交流委員会

3月9日(金)

議 題

- 1 弘前大学国際交流センター長候補者の選出について
- 2 平成13年度国際交流基金事業計画(案)について
- 3 平成13年度海外の大学等との研究交流促進事業計画(案)について
- 4 南ソウル大学校との大学間交流協定締結の諮問について
- 5 その他

報告事項

- 1 「グローバル化時代に求められる高等教育の在り方について(答申)」について
- 2 チューター制度に関するアンケートの実施について
- 3 平成13年度平和中島財団留学生奨学生採用について
- 4 留学生受入れに関する講演会の開催について
- 5 平成13年度日本留学フェア等の開催について
- 6 理工学部とロシア科学アカデミー金属物理研究所との学術交流に関する協定の締結について
- 7 サンディエゴ州立大学ポール・ストランド博士の招へい終了について
- 8 オタゴ大学郭南燕講師の来日日程について
- 9 平成13年度短期留学推進制度(派遣)留学生の採用について
- 10 平成13年度国内採用による国費外国人留学生(研究留学生)の採用について
- 11 国費外国人留学生の奨学金支給期間延長希望者の推薦について
- 12 その他

▼職員宿舍委員会

3月16日(金)

議 題

- 1 職員宿舍入居者選考について
- 2 その他

▼共通教育運営委員会

3月22日(木)

議 題

- 1 評議会報告
- 2 全学教育協議会21世紀教育実施準備専門委員会報告
- 3 教務委員会報告

- 4 点検改善専門委員会報告
- 5 共通教育運営委員会(紙上)の結果について
- 6 平成13年度全国国立大学教養教育実施組織代表者会議及び第37回12大学教養教育実施組織代表者会議における協議題等について
- 7 平成13年度教養特別講義プログラム推進経費の要求について
- 8 共通教育科目における「大学以外の教育施設等における学修」の単位認定に関する内規の「ケンブリッジ大学英語検定」の名称について
- 9 その他

議 題

- 1 共通教育履修規則の一部改正について
- 2 教養教育改善充実特別事業報告書について
- 3 その他

▼セクシュアル・ハラスメント防止等対策委員会

3月14日(水)

議 題

- 1 意識調査(アンケート)について
- 2 セクシュアル・ハラスメントの防止等について
- 3 その他

▼生涯学習教育研究センター運営委員会

3月19日(月)

議 題

- 1 センター運営費平成12年度決算及び平成13年度所要額(案)について
- 2 平成13年度公開講座実施計画(青森会場)について
- 3 生涯学習講演会の開催について

報告事項

- 1 生涯学習講演会「ヨーロッパ漫画のユーモア」の実施結果について
- 2 生涯学習講演会「ボランティア・NPOが21世紀をひらく」の実施結果について
- 3 その他

▼地域共同研究センター運営委員会

3月19日(月)

議 題

- 1 平成13年度客員教授について
- 2 その他

報告事項

- 1 産学官交流フォーラムについて
- 2 平成12年度共同研究および受託研究の受入状況等について
- 3 その他

新任部局長等紹介

副 学 長



たん の ただし
丹 野 正

丹野人文学部教授が、平成13年4月1日付けで、副学長に発令されました。

地域共同研究センター長



か とう ようじ
加 藤 陽 治

加藤教育学部教授が、平成13年4月1日付けで、地域共同研究センター長に発令されました。

人 文 学 部 長



わら しな かつ ゆき
藁 科 勝 之

藁科人文学部教授が、平成13年4月1日付けで、人文学部長に発令されました。

附属養護学校長



あん どう ふき じ
安 藤 房 治

安藤教育学部教授が、平成13年4月1日付けで、同学部附属養護学校長に発令されました。

附 属 病 院 長



すず き ただ し
鈴 木 唯 司

鈴木医学部教授が、平成13年4月1日付けで、医学部附属病院長に発令されました。

教育学部附属教育実践総合センター長



は が とし お
羽 賀 敏 雄

羽賀教育学部教授が、平成13年4月1日付けで、同学部附属教育実践総合センター長に発令されました。

新任評議員紹介



いし どう てつ や
石 堂 哲 也

石堂人文学部教授が、平成13年4月1日付けで、評議員に発令されました。

新任部課長等紹介

経 理 部 長

まつ かわ たもつ
松 川 保



松川文部科学省高等教育局医学教育課課長補佐が平成13年4月1日付けで、本学経理部長に発令されました。

総務部人事課長

おお やま けんの すけ
大 山 賢之助



大山長岡技術科学大学総務部研究協力課長が、平成13年4月1日付けで、本学総務部人事課長に発令されました。

施 設 部 長

なか じま たみ お
仲 島 民 雄



仲島北海道大学施設部設備課長が平成13年4月1日付けで、本学施設部長に発令されました。

附属図書館情報管理課長

おか だ きよし
岡 田 潔



岡田富山医科薬科大学教務部図書課長が、平成13年4月1日付けで、本学附属図書館情報管理課長に発令されました。

附属図書館事務部長

いがらし てつ ろう
五十嵐 哲 郎



五十嵐北海道大学附属図書館情報管理課長が、平成13年4月1日付けで、本学附属図書館事務部長に発令されました。

医学部総務課長

まつ おか じつ お
松 岡 實 夫



松岡広島大学歯学部総務課長が、平成13年4月1日付けで、本学医学部総務課長に発令されました。

医学部事務部次長

ひょう どう すずむ
兵 頭 進



兵頭旭川医科大学総務部会計課長が、平成13年4月1日付けで、本学医学部事務部次長に発令されました。

経理部契約室長

たん どう てる お
丹 藤 照 雄



丹藤医療技術短期大学部事務長が、平成13年4月1日付けで、本学経理部契約室長に発令されました。

人文学部事務長

やま や たか あき
山 谷 隆 明

山谷経理部契約室長が、平成13年4月1日付けで、本学人文学部事務長に発令されました。

医療技術短期大学部事務長

さ と う ま さ ひこ
佐 藤 正 彦

佐藤総務部総務課課長補佐が、平成13年4月1日付けで、本学医療技術短期大学部事務長に発令されました。

理工学部事務長

か さい しょう ご
葛 西 勝 吾

葛西人文学部事務長が、平成13年4月1日付けで、本学理工学部事務長に発令されました。

新任教授紹介

人 文 学 部

さく みち しん すけ
作 道 信 介
(専攻：社会心理学)

作道人文学部助教授が、平成13年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。

やす だ むね よし
保 田 宗 良
(専攻：マーケティング)

保田人文学部助教授が、平成13年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。

教 育 学 部

やま ぐち ため ひろ
山 口 為 廣
(専攻：漢文学)

山口教育学部助教授が、平成13年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。

おお たか あき ふみ
大 高 明 史
(専攻：生物学)

大高教育学部助教授が、平成13年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。

なん ば かん じ
難 波 完 爾
(専攻：代数学)

難波氏が、平成13年4月1日付けで、本学教育学部教授に発令されました。

ひ かげ や よ い
日 景 弥 生
(専攻：家庭教育)

日景教育学部助教授が、平成13年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。



ふき がい けん いち
吹 貝 賢 一
(専攻：教育工学)

吹貝教育学部附属教育実践研究指導センター助教授が、平成13年4月1日付けで、同学部附属教育実践総合センター教授に発令されました。



はん だ すすむ
半 田 進
(専攻：数学教育)

半田氏が、平成13年4月3日付けで、本学教育学部教授に発令されました。

医 学 部



みな がわ とも こ
皆 川 智 子
(専攻：がん看護)

皆川札幌医科大学保健医療学部助教授が、平成13年4月1日付けで、医学部教授に発令されました。



さ さ き じゅん いち
佐々木 甚 一
(専攻：臨床免疫)

佐々木医学部助教授が、平成13年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。



たか はし けん
高 橋 元
(専攻：人体形態学)

高橋医学部助教授が、平成13年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。



なか むら てる お
中 村 光 男
(専攻：臨床検査医学)

中村医学部助教授が、平成13年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。



よど の ひらく
淀 野 啓
(専攻：放射線診断学)

淀野医学部附属病院助教授が、平成13年4月1日付けで、医学部教授に発令されました。



わ だ かず まる
和 田 一 丸
(専攻：精神医学)

和田医学部附属病院講師が、平成13年4月1日付けで、医学部教授に発令されました。



さ とう きみ ひこ
佐 藤 公 彦
(専攻：検査技術)

佐藤医学部助教授が、平成13年4月1日付けで、同学部教授に発令されました。

理 工 学 部



もり とし あき
森 聰 明
(専攻：触媒科学)

森名古屋工業技術研究所主席
研究員が、平成13年3月16日付
で、本学理工学部教授に発令さ
れました。



まきの えい じ
牧 野 英 司
(専攻：マイクロマシン)

牧野北海道大学大学院工学研
究科助教授が、平成13年4月1日
付けで、本学理工学部教授に発令
されました。

人 事 異 動

[採 用]

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 4. 1		野 呂 公 代	文部科学事務官 (医学部総務課職員係長)
"		長谷部 里 香	" (総務部人事課任用係)
"		小久保 竜 子	" (附属図書館医学部分館資料サービス係)
"		田 中 真理子	" (医学部管理課用度第二係)
"		山 内 晶 代	" (" 医事課<外来業務担当>)
"		明 岡 和 志	" (" " < " >)
"		舩 木 美 里	" (" " <入院業務担当>)
"		豊 田 淳 平	文部科学技官 (理工学部研究協力係)
"		佐々木 大 高	" (" ")
"		笹 亜紀子	" (農学生命科学部附属施設管理係 <藤崎農場担当>)
"		難 波 完 爾	文部科学教官 (教 授 教育学部)
"		皆 川 智 子	" (教 授 医学部)
"		柑 本 英 雄	" (助教授 人文学部)
"		FUHRT VOLKER MICHAEL	" (" ")
"		大 谷 良 光	" (" 教育学部)
"		今 田 匡 彦	" (" ")
"		小 岩 直 人	" (" ")
"		廣 田 淳 一	" (" 医学部)
"		片 岡 俊 一	" (" 理工学部)
"		松 井 太	" (講 師 人文学部)
"		後 藤 寛	" (" ")
"		羽 渕 一 代	" (" ")
"		石 黒 格	" (" ")
"		荷 見 守 義	" (" ")

13. 4. 1		佐 野 信 子	文部科学教官（講 師 教育学部）
”		吉 田 聡	” （ ” 医学部）
”		古 郡 規 雄	” （ ” ” ）
”		野 戸 結 花	” （ ” ” ）
”		田 高 悦 子	” （ ” ” ）
”		目 黒 玲 子	” （助 手 ” ）
”		鈴 木 礼 子	” （ ” ” ）
”		胡 奈 良	” （ ” ” ）
”		松 尾 加代子	” （ ” ” ）
”		松 井 淳	” （ ” ” ）
”		高 橋 良 博	” （ ” ” ）
”		近 藤 英 宏	” （ ” ” ）
”		高 畑 武 功	” （ ” ” ）
”		古 川 照 美	” （ ” ” ）
”		七 島 直 樹	” （ ” ” ）
”		上 谷 英 史	” （ ” ” ）
”		渡 邊 裕	” （ ” 理工学部）
”		工 藤 祐 嗣	” （ ” ” ）
”		照 井 君 典	” （ ” 医学部附属病院）
”		横 山 徹	” （ ” ” ）
”		佐々木 知 行	” （ ” ” ）
”		森 次 龍 太	” （ ” ” ）
”		山 内 崇 生	” （ ” ” ）
”		蒔 苗 公 利	” （ ” ” ）
”		板 橋 陽 子	” （ ” ” ）
”		伊 藤 聡	” （ ” ” ）
”		新 明 康 宏	” （ ” ” ）
”		大 谷 勝 記	” （ ” ” ）
”		富 澤 登志子	文部科学技官（教育学部）
”		三 浦 直 樹	” （理工学部）
”		工 藤 強	文部科学教官（教 頭 教育学部附属小学校）
”		蒔 苗 元 紹	” （教 諭 ” ）
”		工 藤 真紀子	” （ ” ” ）
”		工 藤 郁 子	” （ ” ” ）
”		奈 良 之 弘	” （ ” 教育学部附属中学校）
”		大 友 啓 文	” （ ” ” ）
”		相 馬 浩 治	” （ ” ” ）
”		鳴 海 滋	” （ ” ” ）

13. 4. 1		八 島 之 子	文 部 科 学 教 官 (教 諭 教 育 学 部 附 属 中 学 校)
〃		工 藤 尋 美	〃 (〃 〃)
〃		八木橋 鉄 弘	〃 (教 頭 教 育 学 部 附 属 養 護 学 校)
〃		葛 西 克 行	〃 (教 諭 〃)
〃		齋 藤 陽 一	〃 (〃 〃)
〃		川 村 健 一	〃 (〃 〃)
〃		工 藤 良 子	文 部 科 学 技 官 (医 学 部 附 属 病 院 検 査 部 臨 床 検 査 技 師)
〃		菅 原 かおる	〃 (医 学 部 附 属 病 院 放 射 線 部 診 療 放 射 線 技 師)
〃		原 田 知恵子	〃 (医 学 部 附 属 病 院 看 護 部 助 産 婦)
〃		高 橋 尚 子	〃 (〃 〃)
〃		町 田 祥 子	〃 (〃 看 護 婦)
〃		平 原 加奈子	〃 (〃 〃)
〃		秋 田 里 香	〃 (〃 〃)
〃		高 杉 五十鈴	〃 (〃 〃)
〃		田 邊 奈保子	〃 (〃 〃)
〃		後 藤 直 子	〃 (〃 〃)
〃		齊 藤 志津恵	〃 (〃 〃)
〃		高 橋 朋 子	〃 (〃 〃)
〃		工 藤 由香里	〃 (〃 〃)
〃		木 田 歩	〃 (〃 〃)
〃		長 内 久美子	〃 (〃 〃)
〃		工 藤 了 子	〃 (〃 〃)
〃		藤 田 弓 美	〃 (〃 〃)
〃		葛 西 真喜子	〃 (〃 〃)
〃		高 田 直 美	〃 (〃 〃)
13. 4. 3		半 田 進	文 部 科 学 教 官 (教 授 教 育 学 部)

[昇 任]

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 4. 1	文部科学省高等教育 局医学教育課課 補佐	松 川 保	弘前大学経理部長
〃	北海道大学施設部 設備課長	仲 島 民 雄	〃 施設部長
〃	北海道大学附属図 書館情報管理課長	五十嵐 哲 郎	〃 附属図書館事務部長
〃	旭川医科大学総務 部会計課長	兵 頭 進	〃 医学部事務部次長
〃	医学部事務部次長	佐 橋 正 昭	鳥羽商船高等専門学校事務部長
〃	課長補佐（総）	佐 藤 正 彦	医療技術短期大学部事務長

13. 4. 1	総務係長（総）	新 谷 哲 雄	総務部総務課専門員（企画調査担当）
〃	企画係長（総務）	坪 憲 二	学務部教務課専門員（教務担当）
〃	管理主任（理工）	佐々木 宣 子	総務部人事課専門職員（安全管理担当）
〃	総務主任（教育）	小山内 英 子	医学部医事課収入係長
〃	北海道大学水産科学研究科・水産学部	中 條 将 喜	附属図書館医学部分館資料サービス係長
〃	事務官（人）	佐 藤 知 己	総務部人事課任用係任用主任
〃	〃（〃）	木 村 洋	総務部人事課福祉係福祉主任
〃	〃（総務）	尾 崎 克 洋	経理部経理課情報処理係情報処理主任
〃	〃（契）	庄 司 聡	〃 契約室物品調達係契約主任
〃	〃（経）	會 津 祐 子	医学部管理課経理係経理主任
〃	〃（管理）	葛 西 薫	〃 〃 用度第二係調達主任
〃	助教授（人文）	作 道 信 介	教 授（人文学部）
〃	〃（〃）	保 田 宗 良	〃（〃）
〃	〃（教育）	山 口 爲 廣	〃（教育学部）
〃	〃（〃）	日 景 弥 生	〃（〃）
〃	〃（〃）	大 高 明 史	〃（〃）
〃	〃（教指）	吹 貝 賢 一	〃（教育学部附属教育実践総合センター）
〃	〃（医）	高 橋 元	〃（医学部）
〃	〃（〃）	佐 藤 公 彦	〃（〃）
〃	〃（〃）	佐々木 甚 一	〃（〃）
〃	〃（〃）	中 村 光 男	〃（〃）
〃	助教授（病）	淀 野 啓	〃（〃）
〃	講 師（医）	和 田 一 丸	〃（〃）
〃	助教授 （北海道大学大学院工学研究科）	牧 野 英 司	〃（理工学部）
〃	講 師（人文）	福 田 進 治	助教授（人文学部）
〃	〃（〃）	山 本 康 裕	〃（〃）
〃	助 手（東北大学大学院文学研究科）	関 根 達 人	〃（〃）
〃	助 手（奈良女子大学大学院人間文化研究科）	丸 山 千賀子	〃（教育学部）
〃	文部科学技官(教育)	葛 西 敦 子	文部科学教官（助教授 教育学部）
〃	講 師（医）	祐 川 幸 一	助教授（医学部）
〃	〃（〃）	稲 葉 孝 志	〃（〃）
〃	〃（病）	高 橋 信 好	〃（〃）
〃	〃（〃）	森 田 隆 幸	〃（〃）
〃	〃（〃）	坂 井 哲 博	〃（医学部附属病院）

13. 4. 1	助 手 (医)	武 尾 照 子	助教授 (医学部)
〃	〃 (〃)	早 狩 誠	〃 (〃)
〃	〃 (東北大学大学院工学研究科)	妻 木 勇 一	〃 (理工学部)
〃	助 手 (医)	三 浦 富 智	講 師 (医学部)
〃	助 手 (〃)	加 藤 拓 彦	講 師 (医学部)
〃	文部科学技官 (教育)	工 藤 せい子	文部科学教官 (講師 医学部)
〃	助 手 (病)	袴 田 健 一	講 師 (医学部附属病院)
〃	〃 (〃)	青 木 昌 彦	〃 (〃)
〃	〃 (〃)	廣 田 和 美	〃 (〃)
〃	〃 (理工)	根 本 直 樹	〃 (理工学部)
〃	副臨床検査技師長 (病)	葛 西 猛	医学部附属病院検査部臨床検査技師長
〃	主任臨床検査技師 (〃)	齊 藤 慶 子	医学部附属病院検査部副臨床検査技師長
〃	臨床検査技師 (〃)	薦 谷 昭 司	医学部附属病院検査部主任臨床検査技師
〃	副診療放射線技師長 (〃)	工 藤 亮 裕	医学部附属病院放射線部診療放射線技師長
〃	主任診療放射線技師 (〃)	齋 藤 隆	医学部附属病院放射線部副診療放射線技師長
〃	診療放射線技師 (〃)	須 崎 勝 正	医学部附属病院放射線部主任診療放射線技師
〃	病理細菌技術員 (〃)	井 上 文 緒	医学部附属病院検査部臨床検査技師
〃	病理細菌技術員 (〃)	小 林 正 和	医学部附属病院病理部臨床検査技師
〃	診療放射線技師 (秋田大学医学部附属病院)	叶 亮 浩	医学部附属病院放射線部診療放射線技師
〃	副看護部長 (病)	須 藤 明 子	医学部附属病院看護部長
〃	看護婦長 (〃)	小 林 朱 実	医学部附属病院副看護部長
〃	副看護婦長 (〃)	相 馬 美香子	医学部附属病院看護部看護婦長
〃	〃 (〃)	池 田 江 里	〃
〃	〃 (〃)	相 馬 博 子	〃
〃	〃 (〃)	堀 川 万記子	〃
〃	〃 (〃)	佐 藤 しのぶ	〃
〃	看護婦 (〃)	村 上 裕 子	医学部附属病院看護部副看護婦長
〃	〃 (〃)	浅 利 三和子	〃
〃	〃 (〃)	塚 本 由記子	〃
〃	〃 (〃)	大 高 奈奈子	〃
〃	〃 (〃)	棟 方 栄 子	〃
〃	〃 (〃)	山 本 葉 子	〃
〃	〃 (〃)	神 敦 子	〃

〔転 任〕

発令 年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 4. 1	会計係長（短大）	金 澤 正 彦	学務部学生課学生係長
〃	庶務係長（〃）	小田 桐 努	医学部総務課専門職員（保健学科整備担当）
〃	庶務主任（〃）	安 田 誠 子	〃 〃 保健学科企画主任
〃	厚生主任（〃）	谷 口 和 子	理工学部研究協力係事務主任
〃	八戸工業高等専門学校会計課用度係	佐 藤 良 法	経理部主計課司計係
〃	事務官（短大）	一 戸 由紀子	〃 経理課出納係
〃	〃（〃）	古 川 桃 子	学務部教務課教務係
〃	東京医科歯科大学医学部総務課	安 重 結美子	医学部総務課企画係
〃	事務官（短大）	後 藤 真 吾	〃 〃 専門職員付（保健学科整備担当）
〃	岐阜大学農学部附属農場	佐 藤 崇	農学生命科学部附属施設管理係＜藤崎農場担当＞
〃	茨城大学農学部	長谷川 良 孝	〃 〃 ＜金木農場担当＞
〃	収入係長（医事）	長 内 敏 幸	医療技術短期大学部総務係長
〃	事務主任（理工）	相 澤 三千代	〃 学務係厚生主任
〃	事務官（図分）	齋 藤 登紀子	〃 総務係図書分室
〃	〃（教育）	嶋 元 貴 彦	〃 学務係
〃	〃（人）	櫻 井 力	文部科学省大臣官房会計課第一予算班一般第一係
〃	〃（〃）	村 山 嘉 審	東京大学総務部人事課
〃	〃（総）	小 向 美千子	東京芸術大学美術学部
〃	〃（管理）	佐 藤 光 明	岩手大学工学部研究支援係
〃	〃（医事）	鎌 田 貴 己	八戸工業高等専門学校会計課総務係
13. 3. 16	経済産業技官（名古屋工業技術研究所首席研究官）	森 聰 明	文部科学教官（教授 理工学部）
〃	農林水産技官（果樹試験場栽培部主任研究官）	伊 藤 大 雄	文部科学教官（助教授 農学生命科学部附属生物共生教育研究センター）
13. 4. 1	教 授（人文）	田 中 重 好	名古屋大学教授大学院文学研究科
〃	教 授（教育）	伊 藤 隆	秋田大学教授教育文化学部
〃	〃（〃）	安 田 寛	奈良教育大学教授教育学部
〃	助教授（医）	和 賀 忍	厚生労働技官（国立療養所岩木病院）
〃	診療放射線技師（病）	植 木 聡	秋田大学医学部附属病院中央放射線部診療放射線技師
〃	看護婦（〃）	三 浦 貴 子	山形大学医学部附属病院看護部看護婦
〃	厚生労働技官（国立国際医療センター国際医療局派遣協力第二課医師）	朝 日 茂 樹	文部科学教官（助教授 医学部）

13. 4. 1	厚生労働技官（国立療養所岩木病院外科医師）	豊 木 嘉 一	文部科学教官（助 手 医学部附属病院）
〃	教諭（東京学芸大学教育学部附属大泉小学校）	倉 内 茂 子	教育学部附属小学校教諭
〃	看護師（山形大学医学部附属病院）	木 村 俊 幸	医学部附属病院看護部看護師

〔配置換〕

発令 年月日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 4. 1	長岡技術科学大学総務部研究協力課長	大 山 賢之助	総務部人事課長
〃	富山医科薬科大学教務部図書課長	岡 田 潔	附属図書館情報管理課長
〃	広島大学歯学部総務課長	松 岡 實 夫	医学部総務課長
〃	医療技術短期大学部事務長	丹 藤 照 雄	経理部契約室長
〃	経理部契約室長	山 谷 隆 明	人文学部事務長
〃	人文学部事務長	葛 西 勝 吾	理工学部事務長
〃	経理部長	菅 原 勝 男	静岡大学経理部長
〃	附属図書館事務部長	谷 内 聰	新潟大学附属図書館事務部長
〃	総務部人事課長	松 村 仁	九州大学総務部研究協力課長
〃	附属図書館情報管理課長	矢 野 誠	東北大学附属図書館情報サービス課長
〃	医学部総務課長	椎 名 幸 男	北海道大学医学部附属病院総務課長
〃	課長補佐（教）	佐 藤 祥 英	総務部総務課課長補佐
〃	〃（経）	丹 藤 淳 一	経理部主計課 〃
〃	〃（管理）	京 野 義 雄	〃 経理課 〃
〃	専門員（教）	黒 瀧 正 観	学務部教務課 〃
〃	課長補佐（医事）	高 谷 芳 雄	医学部管理課 〃
〃	専門員（研究）	福 嶋 勉	〃 医事課 〃
〃	〃（主）	黒 滝 勲	総務部研究協力課専門員（国際学術担当）
〃	〃（総）	石 崎 孝 志	経理部主計課専門員（会計法規担当）
〃	福祉係長（人）	長 澤 淳	総務部総務課総務係長
〃	学務係長（学務）	鳴 海 一	〃 人事課専門職員（人事情報担当）
〃	給与係長（人）	佐々木 輝 雄	〃 〃 任用係長
〃	専門職員（〃）	田 澤 誠	〃 〃 給与係長
〃	総務係長（教育）	佐々木 幸 雄	〃 〃 能率係長
〃	経理係長（管理）	渡 辺 弥	経理部主計課管財係長

13. 4. 1	総務係長（管理）	水 木 精 治	経理部経理課専門職員（決算担当）
〃	司計係長（ 〃 ）	村 市 悟	〃 〃 給与係長
〃	給与係長（経）	楠 美 文 明	〃 契約室経理係長
〃	医事係長（医事）	北 村 正太郎	〃 〃 物品調達係長
〃	学生係長（学）	三 戸 末 文	学務部教務課総務係長
〃	専門職員（学務）	森 幸 彦	〃 学生課専門職員＜課外活動担当＞
〃	〃（人文）	三 橋 洋 子	〃 〃 〃 ＜授業料免除等・奨学担当＞
〃	〃（学）	竹 内 誠	〃 〃 〃 ＜保健管理担当＞
〃	人事係長（総務）	吉 田 操	人文学部専門職員（企画調整担当）
〃	附属学校係長（教育）	菊 池 良 一	教育学部総務係長
〃	総務係長（教）	葛 西 修	〃 附属学校係長
〃	職員係長（総務）	唐 牛 孝 明	医学部総務課企画係長
〃	任用係長（人）	児 玉 仁	〃 〃 人事係長
〃	物品調達係長（契）	相 馬 好 昭	〃 管理課総務係長
〃	総務係長（理工）	土 岐 欣 一	〃 〃 司計係長
〃	総務係長（農生）	齋 藤 伸 雄	〃 〃 経理係長
〃	管財係長（主）	成 田 明	〃 〃 用度第一係長
〃	専門職員（学務）	小田桐 ミツエ	〃 学務課大学院係長
〃	〃（ 〃 ）	五十嵐 義 之	〃 〃 学務係長
〃	〃（人）	盛 純 子	〃 〃 専門職員＜厚生担当＞
〃	〃（医事）	阿 部 美 雄	〃 〃 〃 ＜共同研究担当＞
〃	学務係長（理工）	對 馬 兼 昭	〃 〃 〃 ＜研究協力担当＞
〃	専門職員（学務）	佐 藤 一 治	〃 医事課医事係長
〃	附属施設管理係長（農生）	對 馬 浩 徳	医学部医事課専門職員＜外来業務担当＞
〃	専門職員（経）	阿 部 光 甫	理工学部総務係長
〃	〃（学）	小田桐 俊 治	〃 学務係長
〃	経理係長（契）	船 水 芳 弘	農学生命科学部総務係長
〃	専門職員（農生）	山 口 富 雄	〃 附属施設管理係長
〃	用度第一係長（管理）	秋 山 功 男	〃 専門職員（金木農場担当）
〃	総務主任（図管）	葛 西 嘉 子	経理部契約室物品調達係調達主任
〃	サービス契約主任（契）	佐々木 美津子	施設部企画課総務係総務主任
〃	事務主任（理工）	石 岡 勝 彦	教育学部総務係事務主任
〃	教務主任（人文）	野 瀬 亮 子	〃 学務係教務主任
〃	研究協力主任（研究）	長 尾 久 好	医学部総務課庶務係庶務主任
〃	給与主任（経）	佐々木 健 一	〃 管理課総務係総務主任

13. 4. 1	調達主任（管理）	中 野 公 雄	医学部管理課用度第一係用度主任
〃	用度主任（ 〃 ）	鈴 木 純 子	理工学部総務係管理主任
〃	能率主任（人）	佐 藤 勝 美	〃 研究協力係事務主任
〃	事務主任（理工）	奈良岡 耕 子	農学生命科学部総務係事務主任
〃	事務官（教）	山 本 実希子	総務部総務課総務係
〃	〃（ 〃 ）	瀬成田 智	〃 人事課能率係
〃	〃（人）	熊 澤 祐 樹	〃 〃 福祉係
〃	〃（ 〃 ）	神 真由美	〃 研究協力課研究協力係
〃	〃（医事）	板 垣 学	経理部経理課給与係
〃	〃（管理）	乗 田 優 雅	〃 〃 共済係
〃	〃（経）	佐 藤 理砂子	〃 契約室サービス契約係
〃	〃（管理）	長谷川 公 栄	〃 〃 〃
〃	〃（理工）	谷 高	学務部教務課留学生係
〃	〃（経）	奈 良 正 裕	〃 入試課入学試験係
〃	〃（農生）	千 葉 千 雪	附属図書館情報管理課総務係
〃	〃（医事）	熊 谷 千賀子	人文学部総務係
〃	〃（理工）	高 橋 園 子	〃 学務係
〃	〃（契）	山 形 浩 貴	教育学部総務係
〃	〃（主）	工 藤 公 樹	〃 〃
〃	〃（教実）	蒔 苗 幸 夫	〃 学務係
〃	〃（教育）	照 井 透	〃 附属教育実践総合センター
〃	〃（ 〃 ）	高 松 達 典	医学部管理課用度第二係
〃	〃（管理）	奈 良 昌 晃	〃 〃 〃
〃	〃（医事）	小 山 真樹子	〃 医事課＜収入業務担当＞
〃	〃（契）	塩 谷 育 世	〃 〃 ＜ 〃 ＞
〃	〃（農生）	成 田 雄	〃 〃 ＜入院業務担当＞
〃	〃（入）	関 一 也	〃 〃 ＜医療情報運用業務担当＞
〃	〃（図分）	藤 井 真 嗣	附属図書館医学部分館資料情報係
〃	〃（教育）	石 川 真 理	理工学部総務係
〃	〃（医事）	千 葉 可奈子	理工学部研究協力係
〃	〃（農生）	今 壽砂代	農学生命科学部総務係
〃	技 官（理工）	對 馬 優 聖	〃 〃
〃	事務官（管理）	中 島 誠	〃 附属施設管理係＜金木農場担当＞
〃	会計主任（短大）	佐 藤 友 之	医療技術短期大学部総務係総務主任
〃	事務主任（ 〃 ）	成 田 洋 子	〃 〃 管理主任
〃	事務官（短大）	近 藤 恵美子	〃 〃 図書分室
〃	教 授（教育）	豊 嶋 秋 彦	教 授（教育学部附属教育実践総合センター）
〃	助教授（教指）	小 山 智 史	助教授（ 〃 ）

13. 4. 1	助教授（教育）	西 沢 義 子	助教授（医学部）
〃	〃 （医）	佐々木 泰 輔	〃 （医学部附属病院）
〃	講 師（〃）	工 藤 誠 治	講 師（ 〃 ）
〃	助 手（病）	石 坂 浩	助 手（医学部）
〃	〃 （医）	三 浦 一 志	〃 （医学部附属病院）
〃	臨床検査技師（〃）	秋 元 広 之	医学部附属病院検査部臨床検査技師
〃	〃 （〃）	原 悦 子	医学部附属病院輸血部臨床検査技師
〃	助 産 婦（〃）	廣 田 るみ子	医学部附属病院看護部看護婦

〔臨時的任用〕

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 3. 26		及 川 直 樹	文部科学教官（弘前大学教育学部附属幼稚園教諭）に臨時的に任用する 任期は平成13年 4 月17日までとする
13. 3. 30		鵜 木 奈 美	文部科学技官（弘前大学医学部附属病院看護部看護婦）に臨時的に任用する 任期は平成13年 6 月29日までとする
13. 4. 1		寺 嶋 智 恵	文部科学技官（弘前大学医学部附属病院看護部看護婦）に臨時的に任用する 任期は平成13年11月10日までとする
13. 4. 5	事務官（教育）	黒 滝 裕 子	臨時的任用を更新する 任期は平成13年 5 月28日までとする

〔併 任〕

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 4. 1	事務官（人）	櫻 井 力	文部科学省大臣官房会計課第一予算班一般第二係 の併任は終了した
〃	〃 （〃）	村 山 嘉 審	文部科学省初等中等教育局教科書課無償給与係の併任は終了した
〃	教 授（人文）	丹 野 正	弘前大学副学長に併任する 併任の期間は平成14年 1 月31日までとする 弘前大学評議員に併任する 併任の期間は平成14年 1 月31日までとする
〃	〃 （ 〃 ）	藁 科 勝 之	弘前大学人文学部長に併任する 併任の期間は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 （医）	鈴 木 唯 司	弘前大学医学部附属病院院長に併任する 併任の期間は平成15年 3 月31日までとする 弘前大学評議員に併任する 併任の期間は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 （教育）	安 藤 房 治	弘前大学教育学部附属養護学校長に併任する 併任の期間は平成16年 3 月31日までとする
〃	〃 （人文）	藁 科 勝 之	弘前大学評議員の併任を解除する
〃	〃 （ 〃 ）	石 堂 哲 也	弘前大学評議員に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃 （医）	松 木 明 知	弘前大学評議員に併任する 併任の期間は平成15年 3 月31日までとする

13. 4. 1	教 授 (人文)	石 堂 哲 也	弘前大学人文学部人文学科長に併任する 併任の 期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	中 澤 勝 三	弘前大学人文学部経済学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	教 授 (教育)	羽 賀 敏 雄	弘前大学教育学部附属教育実践研究指導センター長の併任は 終了した
〃	〃 (〃)	〃	弘前大学教育学部附属教育実践総合センター長に併任する 併任の期間は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	加 藤 陽 治	弘前大学地域共同研究センター長に併任する 併任の期間は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 (医)	工 藤 一	弘前大学附属図書館医学部分館長に併任する 併任の期間は平成15年3月31日までとする
〃	〃 (東京大学大学院 医学系研究科)	清 水 孝 雄	弘前大学教授医学部附属脳神経血管病態研究施設に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃 (医)	松 永 宗 雄	弘前大学医学部附属脳神経血管病態研究施設長に併任する 併任の期間は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	奥 村 謙	弘前大学医学部附属病院救急部長に併任する 併任の期間は平成16年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	鈴 木 重 晴	弘前大学医学部附属病院材料部長に併任する 併任の期間は平成16年 3 月31日までとする
〃	助教授 (病)	淀 野 啓	弘前大学医学部附属病院放射線部副部長の併任を解除する
〃	〃 (〃)	佐々木 泰 輔	弘前大学医学部附属病院放射線部副部長に併任する 併任の期間は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	坂 井 哲 博	弘前大学医学部附属病院手術部副部長に併任する
〃	教 授 (理工)	中 里 博	弘前大学理工学部数理システム科学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	田 尻 明 男	弘前大学理工学部物質理工学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	氏 家 良 博	弘前大学理工学部地球環境学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする 弘前大学理学部地球科学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	清 水 俊 夫	弘前大学理工学部電子情報システム工学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	宮 田 寛	弘前大学理工学部知能機械システム工学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	倉 又 秀 一	弘前大学理学部物理学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	須 藤 進	弘前大学理学部化学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	小 原 良 孝	弘前大学理学部生物学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	雨 森 道 紘	弘前大学理学部情報科学科長に併任する 併任の期間は平成14年3月31日までとする
〃	〃 (農生)	高 村 毅 一	弘前大学農学生命科学部生物機能科学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする

13. 4. 1	教 授（農生）	武 藤 昱	弘前大学農学生命科学部応用生命工学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃（〃）	福 田 博 之	弘前大学農学生命科学部生物生産科学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃（〃）	谷 口 建	弘前大学農学生命科学部地域環境科学科長に併任す 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃（〃）	新 関 稔	弘前大学農学部生物資源科学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃（〃）	安 藤 喜 一	弘前大学農学部農業生産科学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする
〃	〃（〃）	佐々木 長 市	弘前大学農学部農業システム工学科長に併任する 併任の期間は平成14年 3 月31日までとする

〔休 職〕

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 4. 1	講 師（医）	八木橋 法 登	人事院規則11-4 第 3 条第 1 項第 1 号により休職にする 休職の期間は平成15年 3 月31日までとする
〃	助 手（〃）	岩 佐 篤	人事院規則11-4 第3条第 1 項第 1 号により休職にする 休職の期間は平成15年 2 月28日までとする

〔育児休業〕

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 3. 30	看護婦（病）	田 中 葉 子	育児休業を承認する 育児休業の期間は平成13年 3 月30日から平成13年 6 月29日 までとする

〔復 職〕

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 4. 1	助 手（病）	野 田 康 子	職務に復帰した（平成13年 4 月 1 日）
〃	教 諭（附養）	庄 司 あゆみ	〃（〃）
〃	〃（附小）	安 田 奈津子	〃（〃）
〃	看護婦（病）	工 藤 晶 子	〃（〃）
〃	〃（〃）	米 谷 紀 子	〃（〃）
〃	〃（〃）	竹 内 香 子	〃（〃）
〃	〃（〃）	中 西 有紀恵	〃（〃）

〔退 職〕

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 3. 31	施設部長	佐 藤 正 俊	平成13年 3 月 31日限り定年退職
〃	理工学部事務長	木 村 晃	〃
〃	総務主任（企）	佐 藤 幸 子	〃
〃	技 官（医）	山 内 昇	〃

13. 3. 31	技 官 (医)	小 島 眞一郎	平成13年 3 月31日限り定年退職
〃	収入主任 (医事)	赤 平 陽 一	〃
〃	臨床検査技師 (医)	松 山 茂	〃
〃	技 官 (〃)	木 津 恒 子	〃
〃	診療放射線技師長 (病)	安 倍 勝 美	〃
〃	看護部長 (〃)	亀 田 和 子	〃
〃	看護婦長 (〃)	幸 坂 はま子	〃
〃	〃 (〃)	廣 島 綾 子	〃
〃	〃 (〃)	花 田 ヤス子	〃
〃	副看護婦長 (〃)	工 藤 ユキ子	〃
〃	准看護婦 (〃)	木 村 ムツ子	〃
〃	技 官 (農生)	山 内 稔	〃
〃	〃 (〃)	蝦 名 省 二	〃
〃	〃 (〃)	小田桐 博	〃
〃	〃 (〃)	田 中 與次郎	〃
13. 4. 1	教 授 (人文)	庄 子 茂	平成13年 3 月31日限り停年により退職した
〃	〃 (〃)	中屋敷 宏	〃
〃	〃 (〃)	濱 田 正 行	〃
〃	〃 (〃)	松 居 正 俊	〃
〃	〃 (教育)	斧 田 好 雄	〃
〃	〃 (〃)	栗 原 靖	〃
〃	〃 (〃)	- 釜 慶 治	〃
〃	〃 (〃)	外 川 讓 二	〃
〃	〃 (〃)	水 野 裕	〃
〃	〃 (〃)	森 川 辰 夫	〃
〃	〃 (医)	齋 藤 良 治	〃
〃	〃 (〃)	鈴 木 喜八郎	〃
〃	〃 (〃)	千 葉 滋 男	〃
〃	〃 (農生)	戸 次 英 二	〃
〃	助教授 (人文)	HOEFFKEN CNRISTOPH HEINRICH	〃
〃	〃 (医)	浅 野 宏 司	〃
〃	〃 (病)	青 木 紀 道	〃
〃	助 手 (〃)	丸 山 幾 代	平成13年 3 月31日限り任期満了により退職した
〃	教 諭 (附養)	葛 西 真弥子	〃
〃	教 諭 (附小)	土 岐 洋 子	〃
〃	助産婦 (病)	高 橋 尚 子	〃

13. 3. 31	助産婦（病）	原 田 知恵子	平成13年 3 月31日限り任期満了により退職した
〃	看護婦（〃）	工 藤 由香理	〃
〃	〃（〃）	葛 西 真喜子	〃
〃	〃（〃）	高 田 直 美	〃

[辞 職]

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 3. 31	課長補佐（主）	松 枝 一 雄	辞職を承認する
〃	能率係長（人）	菊 池 誠	〃
〃	専門職員（学）	津 田 紘 造	〃
〃	事務主任（人文）	松 枝 雍璃子	〃
〃	外来主任（医事）	赤 石 延 枝	〃
〃	資料サービス係長 （図分）	鹿 内 則 子	〃
〃	臨床検査技師長 （病）	高 松 秀 悦	〃
〃	事務官（総務）	山 内 由 美	〃
〃	〃（人文）	向 井 彩 子	〃
〃	教 授（〃）	井 上 徹	〃
〃	〃（医）	原 田 征 行	〃
〃	助教授（人文）	小 池 淳 一	〃
〃	講 師（病）	藤 田 繁 俊	〃
〃	助 手（医）	一 戸 紀 孝	〃
〃	〃（〃）	木 村 有 子	〃
〃	〃（〃）	宇 野 良 治	〃
〃	〃（〃）	竹 内 功	〃
〃	〃（〃）	新 井 弘 一	〃
〃	〃（〃）	泉 谷 牧 子	〃
〃	〃（〃）	橋 本 安 弘	〃
〃	〃（病）	崎 原 哲	〃
〃	〃（〃）	蔭 山 和 則	〃
〃	〃（〃）	北 澤 淳 一	〃
〃	〃（〃）	小 山 正 幸	〃
〃	〃（〃）	越後谷 直 樹	〃
〃	〃（〃）	中 村 吉 秀	〃
〃	〃（〃）	石 井 賢 治	〃
〃	〃（〃）	水 野 恵 子	〃
〃	〃（〃）	田 中 雅 彦	〃
〃	〃（〃）	山 下 建	〃

13. 3. 31	教 頭 (附小)	福 間 基 高	辞職を承認する
〃	教 諭 (〃)	笹 森 桂 子	〃
〃	〃 (〃)	今 由 香 理	〃
〃	〃 (〃)	葛 西 貴 子	〃
〃	〃 (〃)	工 藤 泰 子	〃
〃	〃 (附中)	石 岡 裕 樹	〃
〃	〃 (〃)	木 村 眞 悦	〃
〃	〃 (〃)	舘 山 光 伸	〃
〃	〃 (〃)	野 呂 枝 美 子	〃
〃	〃 (〃)	外 崎 靖 生	〃
〃	教 頭 (附養)	小 山 眞 文	〃
〃	教 諭 (〃)	田 中 己 美 子	〃
〃	教 諭 (〃)	黒 沼 修	〃
〃	〃 (〃)	船 水 直 樹	〃
〃	副看護婦長 (病)	豊 田 逸 子	〃
〃	看 護 婦 (〃)	木 村 マチ子	〃
〃	〃 (〃)	花 田 るみ子	〃
〃	〃 (〃)	富 永 良 子	〃
〃	〃 (〃)	福 原 紀 子	〃
〃	〃 (〃)	小笠原 由 美	〃
〃	〃 (〃)	稲 見 麻奈美	〃
〃	〃 (〃)	石 岡 京 子	〃
〃	〃 (〃)	布 川 陽 子	〃
〃	〃 (〃)	船 越 奈 菜	〃

[命 免]

発 令 年 月 日	現 官 職	氏 名	異 動 内 容
13. 4. 1	教 頭 (附養)	八木橋 鉄 弘	弘前大学教育学部附属養護学校副校長を命ずる
〃	〃 (附小)	工 藤 強	弘前大学教育学部附属小学校副校長を命ずる
〃	教 授 (医)	鈴 木 重 晴	弘前大学医学部附属病院副院長を命ずる 任期は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	新 川 秀 一	弘前大学医学部附属病院病院長補佐を命ずる 任期は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	奥 村 謙	弘前大学医学部附属病院病院長補佐を命ずる 任期は平成15年 3 月31日までとする
〃	看護部長 (病)	須 藤 明 子	弘前大学医学部附属病院病院長補佐を命ずる
〃	教 授 (理工)	倉 又 秀 一	弘前大学国際交流センター長を命ずる 任期は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 (人文)	CARPENTER VICTOR LEE	弘前大学国際交流センター次長を命ずる 任期は平成15年3月31日までとする

13. 4. 1	教 授 (医)	松 本 光比古	弘前大学医療技術短期大学部教養科主任を命ずる 任期は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	佐 藤 達 資	弘前大学医療技術短期大学部衛生技術学科主任を命ずる 任期は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	三 浦 孝 雄	弘前大学医療技術短期大学部理学療法学科主任を命ずる 任期は平成15年 3 月31日までとする
〃	〃 (〃)	二 唐 東 朔	弘前大学医療技術短期大学部作業療法学科主任を命ずる 任期は平成14年 3 月31日までとする

旧 姓 使 用

旧姓使用 年 月 日	現 官 職	氏 名	使 用 す る 姓
13. 3. 30	助教授 (人文)	安 祐 子	杉 山
13. 3. 30	助教授 (教育)	迫 田 千寿子	郡
13. 4. 9	助教授 (農生)	片 倉 正 樹	黒 尾
13. 4. 9	助 手 (〃)	元 山 千 里	牛 田
13. 4. 9	講 師 (医)	古 郡 規 雄	安 井
13. 4. 9	助 手 (〃)	橋 本 美 貴	中 尾

主 要 日 誌

- 3月6日 自己評価専門委員会
学長懇話会
大学基準協会第85回評議員会（如水会館）
第26回東北地区研修担当官会議（人事院東北事務局）
- 8日 入学者選抜選考委員会（前期日程）
全学教育協議会21世紀教育実施準備専門委員会
東北地区国立大学事務局長会議（東北大学）
- 9日 合格者発表（前期日程）
国際交流委員会
青森県高等教育機関図書館協議会実務担当者会議（八戸工業大学）
- 12日 個別学力検査（後期日程）
給与・共済新汎用システム説明会（～16日 東北大学）
- 13日 部局長等会議
評議会
21世紀戦略会議
附属中学校卒業式
- 14日 入学手続（～15日 前期日程）
セクシュアル・ハラスメント防止等対策委員会
公式ホームページ専門委員会
- 15日 入学者選抜方法研究委員会
平成12年度外国人留学生研修修了証書授与式（事務局大会議室）
部長会議
事務協議会
附属養護学校卒業式
附属幼稚園卒園式
- 16日 UCTS（UMAP単位互換方式）制度についての説明会（大学会館 研修・交流室）
弘前大学宿舍委員会
自己評価専門委員会
運営会議
附属小学校卒業式
附属生物共生教育研究センター運営委員会
- 17日 北東北国立3大学公開講演会（創立50周年記念会館みちのくホール）
- 19日 将来計画委員会
地域共同研究センター運営委員会
全学教育協議会
生涯学習教育研究センター運営委員会
平成12年度東北地区大学公開講座連絡会議（弘前大学SCS室）
- 21日 国際交流に関する講演会（大学会館 研修・交流室）
入学者選抜選考委員会（後期日程）
- 22日 共通教育運営委員会
合格者発表（後期日程）
UMAP日本国内委員会（国立情報学研究所）
大学評価に関するシンポジウム（名古屋大学シンポジオン）
- 23日 平成12年度弘前大学卒業式
（10：00 弘前市民会館）
平成12年度弘前大学大学院修了式
（13：00 50周年記念会館 みちのくホール）
平成12年度岩手大学大学院連合農学研究科学位授与式（ホテルメトロポリタン盛岡本館）
- 26日 入学手続（～27日 後期日程）
課外活動功労者への感謝状贈呈式（学長室）
北東北国立3大学連携推進会議第3回共通教育専門委員会（岩手大学）
- 27日 全学教育協議会21世紀教育実施準備専門委員会
平成12年度弘前大学永年勤続者表彰式並びに文部科学省永年勤続者表彰状伝達式（11：00 創立50周年記念会館）
弘前大学総合文化祭（仮称）実行委員会及び企画委員会合同懇談会
八戸地域との交流促進委員会
学長懇話会
総合情報処理センター運営委員会VOD専門委員会
- 30日 退職者辞令交付
- 4月2日 人事異動辞令交付
情報公開委員会
- 3日 全学教育協議会21世紀教育実施準備専門委員会
自己評価専門委員会
- 4日 平成13年度弘前大学入学式（10：00 弘前市民会館）
平成13年度弘前大学大学院入学式（13：00 50周年記念会館みちのくホール）
- 5日 自己評価委員会

主要行事予定**▼事務局**

5月23日 第37回12大学教養教育実施組織代表
者会議（佐賀大学）

24日 平成13年度全国国立大学教養教育実
施組織代表者会議（～25日 九州大学）

28日 東北地区国立大学長会議（東北大学）

▼人文学部

5月17日 第54回国立17大学人文系学部長会議
（～18日 琉球大学）

▼教育学部

5月24日 平成13年度春季全国国立大学教育学
部長会議（茨城大学）

▼医学部

5月17日 第71回国立大学医学部長会議（都市セ
ンターホテル）

18日 全国医学部長病院長会議平成13年度
定例総会（都市センターホテル）

▼理工学部

5月17日 第51回国立大学工学部長会議・総会
（～18日 京都大学）

23日 平成13年度国立14大学理学部長会議
（～24日 山口大学）

▼農学生命科学部

5月18日 第137回岩手大学大学院連合農学研究
科代議員会（岩手大学）

学 内 規 則

（平成13年 3 月30日制定）

（施行日 平成13年 4 月 1 日）

○弘前大学公印規則の一部改正

（規則第30号）

医療技術短期大学部事務組織の再編に伴い、所要の
改正を行った。

**○弘前大学事務分掌内規の一部改
正**

事務組織の変更等に伴い、所要の改正を行った。

**○弘前大学教育学部履修内規の一
部改正**

附属教育実践研究指導センターを転換し、附属教育
実践総合センターが新設されたことに伴い、所要の改
正を行った。

**○弘前大学教育学部附属教育実践
総合センター運営委員会内規の
制定**

附属教育実践総合センター運営委員会の組織及び運
営に関し必要な事項を定めた。

**○弘前大学長及び弘前大学医療技
術短期大学部学長の行う承認又
は命令権等の委任に関する規則
の一部改正**

（規則第31号）

附属教育実践研究指導センターを転換し、附属教育
実践総合センターが新設されたことに伴い、所要の改
正を行った。

○弘前大学教育学部附属学校運営 内規の一部改正

教育学部の委員会組織の見直しに伴い、所要の改正を行った。

○弘前大学教育学部，附属学校園及 び附属教育実践研究指導セン ター協同教育研究推進委員会内 規の廃止

教育学部，附属学校園及び附属教育実践研究指導センター協同教育研究推進委員会の組織の見直しに伴い，この内規を廃止した。

○弘前大学医学部附属病院外国医 師又は外国歯科医師臨床修練規 則の一部改正 (規則第32号)

附属病院の各種委員会の見直しにより，外国医師等臨床修練委員会を廃止し，卒後臨床研修等委員会を設置すること及び外国医師等の臨床修練受入れに係る手続きの見直しにより，総括臨床修練指導医等を廃止することに伴い，所要の改正を行った。

○弘前大学医学部附属病院治験管 理センター内規の制定

附属病院における医薬品等の治験の業務を円滑に行うため，治験管理センターを設置し，同センターの組織及び業務に関する必要事項を定めた。

○弘前大学医学部附属病院治験管 理センター運営委員会内規の制 定

附属病院治験管理センターの運営を円滑に行うに当たっての必要事項を定めた。

○弘前大学医学部附属病院経営管 理改善委員会内規の制定

附属病院の経営管理の改善を審議するため，この内規を制定した。

○弘前大学医学部附属病院診療環 境向上推進委員会内規の制定

附属病院における診療環境並びに患者サービスの向上を推進するため，この内規を制定した。

○弘前大学医学部附属病院臓器移 植問題検討委員会内規の制定

附属病院における臓器移植に関する諸問題を検討するため，この内規を制定した。

○弘前大学医学部附属病院臓器移 植適応検討委員会内規の制定

附属病院における脳死体からの臓器移植の適応に関する諸問題を検討するため，この内規を制定した。

○弘前大学医学部附属病院卒後臨 床研修等委員会内規の制定

附属病院の委員会の統廃合を行い，病院運営のより高い効率性を図るため，この内規を制定した。

○弘前大学医学部附属病院感染制 御委員会内規の制定

附属病院の院内感染の防止並びに環境整備の改善等を図り，病院教職員の相談指導に応じることを目的とした感染制御委員会に関し，必要な事項を規定した。

○弘前大学医学部附属病院将来計画委員会内規の全部改正

附属病院における運営機能の見直しを行い、将来計画委員会の役割機能を明確にした。

附属病院における各種委員会の見直しを行い、病院運営のより高い効率性を図るため、所要の改正を行った。

○弘前大学医学部附属病院手術部運営委員会内規等の一部を改正する内規

○弘前大学医学部附属病院検査部内規の一部改正

○弘前大学医学部附属病院放射線部内規の一部改正

○弘前大学医学部附属病院救急部運営委員会内規の一部改正

○弘前大学医学部附属病院集中治療部運営委員会内規の一部改正

○弘前大学医学部附属病院周産母子センター運営委員会内規の一部改正

○弘前大学医学部附属病院病理部運営委員会内規の一部改正

○弘前大学医学部附属病院医薬品等臨床研究審査委員会内規の一部改正

(平成13年 4 月 1 日制定)

(施行日 平成13年 4 月 1 日)

○弘前大学情報公開委員会開示・不開示等検討小委員会内規の制定

弘前大学情報公開委員会に、行政文書の開示・不開示等及び情報公開に関する具体的事案への対応等を検討することを目的として設置する、開示・不開示等検討小委員会に関し必要な事項を定めた。

○弘前大学情報公開取扱要項の制定

弘前大学における情報公開の実施に係る取扱いについて必要な事項を定めた。

○弘前大学情報公開に関する開示・不開示の審査基準の制定

弘前大学における行政文書の開示・不開示の審査基準について必要な事項を定めた。

○弘前大学行政文書管理規則の制定

(規則第33号)

弘前大学における行政文書の適正な管理について必要な事項を定めた。

○弘前大学文書処理規則の一部改正

(規則第34号)

弘前大学行政文書管理規則の制定、医療技術短期大学の事務組織の再編等に伴い、所要の改正を行った。

○弘前大学文書保存規則の廃止

(規則第35号)

弘前大学行政文書管理規則の制定に伴い、この規則を廃止した。

○弘前大学文書保存類別細目基準の廃止

弘前大学行政文書管理規則の制定に伴い、この基準を廃止した。

セクシュアル・ハラスメントに関する苦情相談について

平成13年5月1日現在の弘前大学セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規則第8条に定める相談員及び弘前大学学生総合相談室規則第6条に定める相談員をお知らせします。

職員又は学生等からのセクシュアル・ハラスメントに関する苦情相談については、相談員が窓口となって対応しますので、電話又は手紙等で相談員へ連絡の上相談してください。

相 談 員 一 覧

弘前大学セクシュアル・ハラスメントの防止等に関する規則第8条に定める相談員

氏 名	所 属 及 び 職 名	内線電話番号	備 考
御子柴 博	総務部人事課 課長補佐	3016	
佐々木 宣 子	総務部人事課 専門職員（安全管理担当）	3018	
佐々木 幸 雄	総務部人事課 能率係長	3025	
樺 澤 美代子	総務部研究協力課 研究協力係長	3904	
日 景 正 彦	経理部経理課 情報処理係長	3049	
橋 本 美佐子	経理部経理課 給与係経理主任	2046	
葛 西 嘉 子	経理部契約室 物品調達係調達主任	3097	
黒 瀧 正 観	学務部教務課 課長補佐	3103	
坪 憲 二	学務部教務課 専門員（教務担当）	3104	
土 岐 祐 子	学務部教務課 専門職員（学務情報担当）	3110	
三 橋 洋 子	学務部学生課 専門職員（授業料免除等・奨学担当）	3135	
須 藤 光 春	施設部企画課 専門員（施設整備担当）	3062	
山 内 節 子	附属図書館情報管理課 総務係長	3155	
三 上 豊	附属図書館情報管理課 雑誌情報係長	3157	
奥 野 浩 子	人文学部 教授	3248	
村 田 輝 夫	人文学部 助教授	3279	
澤 田 真 一	人文学部 助教授	5938	
國 包 勝 榮	人文学部 学務係長	3194	
芳 野 晴 男	教育学部 教授	3923	
花 屋 道 子	教育学部 助教授	3480	
長 尾 佳 子	教育学部附属小学校 養護教諭	81 - 213	
齊 藤 光 正	教育学部附属小学校 教諭	81 - 213	
木 村 のり子	教育学部附属中学校 教諭	81 - 223	
濱 邊 公 平	教育学部附属中学校 教諭	81 - 223	
葛 西 ゆう子	教育学部附属養護学校 教諭	81 - 303	
森 山 隆	教育学部附属養護学校 教諭	81 - 304	
笹 田 玲 子	教育学部附属幼稚園 教諭	81 - 214	

坂 本 昌 子	教育学部 専門職員（研究協力担当）	3328	
中 根 明 夫	医学部 教授	5032	
菅 世智子	医学部 講師	6022	
石 崎 智 子	医学部 講師	5950	
安 田 誠 子	医学部総務課 保健学科企画主任	5906	
小田桐 ミツエ	医学部学務課 大学院係長	5206	
寺 内 喜美子	医学部医事課 専門職員（外来業務総括担当）	5217	
坂 本 十 一	医学部附属病院 助手	6105	
篠 崎 直 子	医学部附属病院 助手	6134	
中 畑 年 子	医学部附属病院看護部 看護婦長	5278	
葛 西 恵美子	医学部附属病院看護部 看護婦長	5310	
岡 崎 禎 子	理工学部 助教授	3553	
菊 地 茂 樹	理工学部 助教授	3528	
對 馬 幸 雄	理工学部 事務長補佐	3503	
鈴 木 純 子	理工学部 総務係管理主任	3510	
石 田 幸 子	農学生命科学部 助教授	3587	
武 田 共 治	農学生命科学部 助教授	3933	
桑 田 隆	農学生命科学部 事務長補佐	3743	
山 口 富 雄	農学生命科学部 附属施設管理係長	*75 - 3026	
木 村 隆	農学生命科学部 附属施設管理係総務主任	*75 - 3026	
今 光 雄	医療技術短期大学部 学務係長	5911	

*は直通電話番号

（任期：平成12年 8 月 1 日～平成13年 7 月31日）

弘前大学学生総合相談室規則第 6 条に定める相談員

氏 名	所 属 及 び 職 名	内線電話番号	備 考
田名場 美 雪	保健管理センター 講師	3132	
奥 野 浩 子	人文学部 教授	3248	
村 田 輝 夫	人文学部 助教授	3279	
國 包 勝 榮	人文学部 学務係長	3194	
盛 昭 子	教育学部 教授	3463	
豊 嶋 秋 彦	教育学部 教授	3477	
須 藤 堅 治	教育学部 学務係長	3325	
元 村 成	医学部 教授	5021	
鈴 木 重 晴	医学部 教授	5114	
盛 純 子	医学部学務課 専門職員	5207	
倉 坪 茂 彦	理工学部 教授	3536	
須 藤 新 一	理工学部 教授	3579	
高 谷 徳 子	理工学部 学務係厚生主任	2516	

戸 羽 隆 宏	農学生命科学部 助教授	3786	
荒 川 修	農学生命科学部 教授	3809	
森 田 直 文	農学生命科学部 学務係	2753	
川 原 礼 子	医療技術短期大学部 教授	5934	
高 梨 一 彦	医療技術短期大学部 助教授	5932	
相 澤 三千代	医療技術短期大学部 学務係厚生主任	5911	
工 藤 文 弘	学務部教務課 教務係長	3106	
佐 藤 幸 恵	学務部教務課 専門職員	3117	

(任期：平成11年12月1日～平成13年11月30日)

訂 正

計 報

(学報第578号(平成13年3月)の外国出張において、12ページ中、

副学長	水野 裕	先進教育研究推進に関する調査のため	オーストラリア	13. 2.28 13. 3.10
教授 (教)	加藤陽治	先進教育研究推進に関する調査のため	オーストラリア	13. 2.28 13. 3.10
教授 (理工)	古屋泰文	「2001年インド西部大地震についての総合的調査研究」に関する現地調査のため (科学研究費補助金)	インド	13. 2.25 13. 3.11
総務係長 (総)	新谷哲雄	先進教育研究推進に関する調査のため	オーストラリア	13. 2.28 13. 3.10

本学名誉教授石川信一氏には、平成13年4月15日午前0時逝去されました。

享年 69歳

ここに、謹んで哀悼の意を表し、御冥福をお祈りいたします。

とあるのは、

副学長	水野 裕	先進教育研究推進に関する調査のため	ニュージーランド	13. 2.28 13. 3.10
教授 (教)	加藤陽治	先進教育研究推進に関する調査のため	ニュージーランド	13. 2.28 13. 3.10
教授 (理工)	佐藤魂夫	「2001年インド西部大地震についての総合的調査研究」に関する現地調査のため (科学研究費補助金)	インド	13. 2.25 13. 3.11
総務係長 (総)	新谷哲雄	先進教育研究推進に関する調査のため	ニュージーランド	13. 2.28 13. 3.10

の誤りでしたので、訂正します。

▼理工学部

4月23日 第1回北海道・東北地区国立大学理学部長会議(弘前大学)

とあるのは、

4月26日 第1回北海道・東北地区国立大学理学部長会議(弘前大学)

の誤りでしたので、訂正します。

弘前大学学報 第579号

平成13年（2001年）4月25日発行

編集発行

弘前大学総務部総務課

036-8560 弘前市文京町1

電話（0172）36—2 1 1 1